

下佐野村近世村方文書 解題

1. 請求番号

(購入資料No.642)

2. 文書群名

下佐野村近世村方文書

3. 伝存地

下佐野村

4. 資料形式

古文書、デジタル画像

5. 数量

11点

6. 年代

寛政9年(1797)～文政10年(1827)

7. 地名

群馬郡下佐野村／西群馬郡下佐野村(明治11年・1878～)／西群馬郡佐野村大字下佐野(明治22年・1889～)／群馬郡佐野村大字下佐野(明治29年・1896～)／高崎市大字下佐野(昭和14年・1939～)／高崎市下佐野町(昭和26年・1951～)

8. 管轄

高崎藩領／高崎県(明治4年・1871～)／第一次群馬県(明治4年～)／熊谷県(明治6年・1873～)／第二次群馬県(明治9年・1876～)

9. 伝来

市史編さん室が平成14年に市内古書店より購入

10. 地域の概要

群馬郡下佐野村は、高崎市役所より南東へ4km程の地点、烏川の左岸に位置する。

佐野地区は、古墳が数多く存在していた地域であり、山上碑に「佐野三家」と記され屯倉が設置されていたと考えられ、「金井沢碑」には「下賛郷」の名も見える。また、「佐野の船橋」は歌枕として知られ、さらに謡曲「鉢木」の登場人物である佐野源左衛門常世など、佐野という地名は古くから知られていた。

近世を通じて高崎藩領。寛文年間(1661～1673)に佐野窪村(49石7斗6升)を分村した。郷帳等に見られる村高は以下の通り(『上野国郷帳集成』)。

- ・寛文8年上野国郷帳：647石3斗7升7合 田方401石2斗8升
畑方246石 9升7合
- ・元禄14年上野国郷帳：597石6斗1升7合
- ・天保5年上野国郷帳：597石6斗1升7合
- ・旧高旧領取調帳：597石6斗1升7合

戸口は文政8年(1825)の宗門人別改帳(No.1)では105軒・395人、『上野国郡村誌』では99戸・467人。

改革組合村では倉賀野宿寄場組合に所属(『新編高崎市史』資料編5・No.220)。

村内には藤原定家を祭神とする定家神社、「上野国神名帳」の従四位上放光明神であるとされ山上碑に見られる「放光寺」との関係が取りざたされる放光神社、天正元年(1573)に倉賀野城主金井淡路守が創建したと伝わる曹洞宗光雲寺が所在する。

下佐野村は、明治22年(1889)より佐野村の大字となり、昭和14年(1939)に佐野村が高崎市へ合併し高崎市大字下佐野となった。

昭和26年から高崎市下佐野町となり現在へ至る。

11. 文書群の特徴

市史編さん室が古書店で購入した資料であり、宗門人別改帳1点、年貢割付状10点（内新田分4点）の計11点からなる。

本来は下佐野村の名主等を務めた家に伝存したものと考えられるが、文書群の全体像や一緒に伝存したであろう資料の行方などは不明。

12. 検索手段

本目録

13. 関連資料

14. 利用上の留意点